

赤い靴通信 409号

日本人で始めて、アジア人で始めてという報道。松山英樹選手がマスターズで優勝しました。グリーンズのジャケットを着せてもらって嬉しそうな松山選手の姿を見てTBSのアナウンサーや、かつて出場した中島選手は涙を抑えながらテレビで伝えていました。この松山選手の快挙はコロナ禍の中で憂鬱な日々を送っていた国民に一灯の光を与えてくれました。それにもましてキャディの仕草が興奮冷めやらないギャラリータチの賞讃の的になったのです。最後のホールにピンを戻すとコースに向かって帽子をとり一礼したのです。かつて無かったこのようなきりげないシーンが大勢の人々の心を奪いました。キャディの名前は早藤将太君、松山選手の学校の後輩だそうですが、私は武士道を垣間見た思いでした。外国人たちもその仕草に感動したのです。私の学生時代、柔道、剣道は武道であるので当然でしたが、体育室でバスケットをしても帰りは皆お辞儀をして感謝の気持ちを表していました。またテレビで見たのですが、ロシアのプーチンさんは、自分の柔道道場を持っていて広い畳敷きですが、入る時と退出の時はおじぎをしていました。入ると柔道の父と言われた嘉納治五郎先生の写真が飾ってありました。元町のあかいくつスタジオでも帰りにお辞儀をしている子がいます。赤い靴では舞台関係の人へのごあいさつは皆身についていますね。プロ野球の選手も帰りがけに今まで試合をしていたグラウンドに向かってお辞儀をしている姿をよく見ます。

松山選手はインタービューの記者やカメラマンに囲まれていたのですが、その話を聞いて一諸にお辞儀したかったと言っていました。彼は愛媛県松山市の出身ですが、この周辺の方は、皆礼儀正しい印象があります。私は愛媛県の八幡浜市に3回ほど行ったことがあります。八幡浜みなどライオンズクラブの記念行事で、私が作った全国みな同名大会の時でした。人口は四万人足らずの都市ですので全国から四百人も行くホテルが足りないのです。打合せで早く行った私に会長が、「申し訳ないのですがバスで佐田岬半島の旅館に行って頂けませんか」といので、「私はどこでもいいですよ」と言うのと「目の前の停留場から乗ると終点です。」といわれました。丁度時間的に学校が終る頃ですので子供たちが並んでバスを待っていました。私はその後になど皆に「今日は！」と帽子を取ってあいさつされ、一番前に押し出されました。一人の子が「どこから来たのですか？」と聴くので「横浜です。」と忘れたら皆で合わせたように「いいな」と言われ拍手をしてくれました。一番先にバスに乗ると後続の子たちは口々にドライバーに「お願いします。」と言って乗りました。そして皆ニコニコして私におじぎをしてくれるのです。途中で降りる子は降りるときドライバーに「ありがとうございます。」と御礼を言って私に手を振るのです。さて岬のホテルは眺めが良くそして礼儀作法の良い子供たちの振舞いすがすがしい気分でした。帰ってきてジュニアコーラスにこのことを話したら一人の子が、「そこはうちのお父さんの出身地です。」と言われ縁を感じました。旅館のマスターが軽自動車を出してきてくれて細い半島のトップまで行きました。横浜でもバスを降りる時「ありがとうございます。」という子がたまにいます。いい言葉ですね。さて、ゴルフですが松山選手の優勝は世界のトップクラスの選手たちの中のグループのコンペに誘われて行ったことがあります。始めてゴルフ場に行っ



5月5日こどもの日コンサート用録画撮影
赤レンガ倉庫・1号館ホールにて

第34期 赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会

開催日： 6月20日(日)

会場： 杉田劇場

観覧ご希望の方は上記赤い靴事務局まで、事前申し込みが必要です。

今後のスケジュール

★5/5(水・祝)
こどもの日コンサート2021
神奈川県立青少年センター
紅葉坂ホール(座席使用50%)
1回目13:00~・2回目16:30~
料金：小~高校生1,000円
一般2,000円
※未就学のお子様はご遠慮ください
出演：神奈川フィル 他
赤い靴ジュニアコーラスは映像での共演

★6/20(日)
第34期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
杉田劇場
ATF・青隊・赤隊I・II・III
詳細は後日

★7/22(木・祝/海の日記念日)
第15回
中区ダンスフェスティバル
関内ホール・大ホール
①13:00~ こども中心
②18:00~ 大人中心

★8/7(土)・8/8(日)
横浜市民子どもミュージカル メモリアル2021~物語は終わらない~
関内ホール・小ホール
詳細は後日

たとき、「松永さんは今回初めてなので面倒を見てくれる人」という呼びかけで手を上げた人のグループに入りました。練習は町のゴルフ場に何回か通ったくらいです。一緒に参加したビギナーは空振りが多く注意されていました。私は必ずボールに当てていました。これは子供の頃、少年野球のメンバーだったので、その監督の教えのおかげと聞いています。野球の方は「打つ瞬間まで投手の手を離れる時からの球から目を離すな」と言われそれを守るのと空振りは減多にしなければならぬと思います。韓国の太田飛行場で隣の部隊との試合に出たとき、前にも書いたことがあるのですが、青田さん(戦後、川上選手とともにジャイアンツの有名な強打者)が投手で、誰が出ても三振でしたが、私の振ったバットは球にあたったのです。たった一人内野安打になったのも今思うと「球から目を離すな」と言う監督のおかげと聞いています。青田さんと別れるとき「やられたな。」と言われました。ゴルフの球は動かないので当然見ていれば当たるのだなと思います。楽しいひとときを過ごしたことがありません。もう一つ快挙があります。グリーンに乗らず20メートルも手前で止まってしまったのですが、そこからバスターで打ったのですが、ホールに小気味よい音を残してホールインしたのでした。

さて、今工事中のみなどみらいホールではなく「紅葉坂ホール」(葉虹坂の青少年センター)で恒例の「こどもの日コンサート」が急に決まり、横浜少年少女合唱団とわが赤い靴ジュニアコーラスが出演します。このような時で画撮りは、赤煉瓦倉庫1号館ホールで行われました。一〇〇人もいる横少は2班に分かれての収録、30分ほど押して、ジュニアコーラスは3班目になりました。歌声を先に収録、次に映像を撮るのですが、ジュニアコーラスはクリスマスキャロルをYouTubeにアップする経験もあり、スムーズに収録出来ました。澄んだ歌声がすばしかったです。ご父兄には見て頂きましたのですが、5月5日の会場は小さく、また50%使用とのことですので満席です。歌は「パプリカ」と「ふるさとの四季」ですが、また皆さんに聴いていただける機会があるといいですね。

さて、イギリスのエジンバラ公がお亡くなりになりました。世界の動物愛護協会の会長をされておられ日本にも何回かお見えになりました。ずい分前になりますが、作詞家の小黒恵子先生から先生の書いた歌「やあ今日は」を歌ってといわれ、殿下をお迎えする上野動物園近くの会場で皆の先輩が歌いました。あの歌には沢山の動物が出てきます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

2021・4・30 団長 松永 春